

## 1 学校教育目標

- 自ら学び目標をもって努力しよう
- 互いに尊重し助け合おう
- 困難に耐え心と体を鍛えよう

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身に付けさせる学校</li> <li>・心身ともに健やかな生徒を育てる学校</li> <li>・生徒、保護者、地域から信頼される学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもち、自ら進んで学習に取り組む生徒</li> <li>・礼儀や思いやりを大切にし、規律ある行動ができる生徒</li> <li>・心身ともに健康で、何事にも一生懸命に取り組む生徒</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に向け、日々、研究・実践に努める教師</li> <li>・生徒一人一人を理解し、生徒の健全育成に努める教師</li> <li>・教育公務員としての自覚と誇りをもって職務に励む教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

#### ○学校について

- 〔よさ〕 落ち着いた雰囲気の中で日々の教育活動が行われている。  
 〔課題〕 新学習指導要領の理念をさらに具現化する教育活動を推進する。

#### ○生徒について

- 〔よさ〕 自らの所属する集団を、より良い集団にするために考え、行動しようとする生徒が大多数である。  
 〔課題〕 学習や諸活動において、より高い目標をもって挑戦する姿勢を養う。

#### ○教師について

- 〔よさ〕 授業改善に向け努力するとともに、学校全体で協力して課題解決しようとする集団である。  
 〔課題〕 教育課題に対し、組織的な解決をさらに推進する。

#### ○保護者・地域について

- 〔よさ〕 保護者・地域の方ともに、本校の卒業生が多く、学校の教育活動を理解し、協力的である。  
 〔課題〕 生徒のよさ、課題等について共有し、連携して生徒を育てていく体制をさらに充実させる。

### 【前年度の成果と課題】

- 〔成果〕 ○「授業が分かる」「授業が楽しい」「勉強は大切だ」と感じている生徒が増加した。  
 ○不登校生徒について、組織的に対応し、関係諸機関との連携を推進することができた。

〔課題〕 ○生徒が自らの課題を見つけ、自主的に学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。  
○学んだ事柄を使って、論理的に物事を考え、表現できる力を身に付けさせる。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	生徒の健全育成	○	○	○	○	○
3	関係小学校や家庭・地域との連携	○	○	○	○	○

#### 5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
主体的に学習に取り組む生徒の育成		令和3年度区調査通過率65% 年度末到達度確認テスト正答率60%							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続 (改善)	「勉強が好き」増加 作戦	全教科	通年	進んで学習に取り組む生徒の育成を目指す ・足立スタンダードに基づいた授業の実践 ・論理的に考え、伝える力を養い、自らの学習を調整し、深い学びをさせる。 ・校内授業研究を全教員が1回以上実施 ・教科指導専門員等の活用、OJT組織の活性化による授業改善	・生徒アンケート ・振り返りシート ・単元テスト等による理解度の確認	・「授業がわかる」85%以上 ・「授業が楽しい」80%以上 ・「授業で振り返りをしている」70%以上 ・「わかりやすい説明を心がけている」60%以上			

2 継続 (改善)	家庭学習 の充実	全生徒	通年	主体的な家庭学習の定着 を目指す ・「家庭学習ガイドブック」 の活用による家庭学習の 取り組み方の指導、保護者 会等での家庭への啓発 ・定期考査前の「学習計画 表」の作成	・生徒アンケ ート ・自主学習ノ ート ・デイリーラ イフ（生活記 録）での確認	・「家庭学習で の勉強内容、方 法がわかる」 70%以上 ・家庭学習1日 1時間以上 50% 以上 ・提出物 90%以 上			
3 継続	放課後補 充教室	全生徒、 各教科の つまずき のある生 徒及び希 望生徒	週3回	未習熟な学習内容の解消 ・必要な学習を行う自学自 習 ・個別指導によるつまずき の解消	・区学力調査 を活用した到 達度確認テス ト ・定期テスト	・年度末に行う 到達度確認テ ストでの対象 生徒の正答率 アップ			
4 継続	I C T の 活用	全教科	通年	わかりやすい授業を行う ために活用	授業観察	・各教員が月1 回以上は活用			
5 継続	朝学習 朝読書	全生徒	通年	1日の落ち着いたスタート ・基礎的な学習内容のプリ ント ・読書 ・朝学習、朝読書の実施時 期は年間計画に基づく	・朝学習は回 収し確認 ・朝読書には 担任も一緒に 取り組む	・全員が朝学 習、朝読書に 取り組む			

重点的な取組事項－２		生徒の健全育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒が秩序と主体性をもって行動できる学校づくり		生徒アンケートの関連項目で肯定的回答 80%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的な生活習慣の徹底	TPOに合わせた言動、チャイム着席、あいさつ等ができる落ち着いた学校の実現	礼儀正しい授業中や職員室での言動について身に付けさせる。生活委員によるあいさつ運動やチャイム着席の点検をとおして、時間を守った生活ができるようにさせる。			
主体的に考え、行動できる生徒の育成	生徒アンケートにおいて、生徒の主体性、達成感に関する項目 80%以上	学級、学年など自らが所属する集団を、より良い集団にするために、生徒会活動等を活性化する。学校行事、学年行事の育成の機会とする。			
いじめ、不登校への対策	いじめの根絶を目指すと共に、関係諸機関との連携を図ることで不登校生徒の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS 学校ルールの徹底、構成的グループエンカウンターを活用により、いじめの置きにくい集団を育成する。</li> <li>・特別支援委員会の充実、関係諸機関との連携、QU調査の活用により、不登校の未然防止、不登校生の学校復帰を支援する。</li> </ul>			
道徳教育の推進	各学年で検討した共通の指導案での道徳授業を年2回実施	道徳教育推進教師を中心とした組織体制をもとに、各学年で指導案を検討し、「考え、議論する道徳」を目指す。			

重点的な取組事項－3		関係小学校や家庭・地域との連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域から信頼される学校づくり		学校評価アンケートにおける関連項目の肯定的回答 80%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携	小学校との合同研修会を年7回実施	・教科別の分科会を設定し、新学習指導要領の理念に基づいた授業改善、健全育成に役立つ内容の研修を行う。			
家庭との連携、協力	学校評価アンケートにおける関連項目で肯定的回答 80%以上	学校だよりやホームページによる学校の情報発信、保護者とのきめ細かい連絡をとおして、保護者と教員の信頼関係を強固にする。			
地域との連携、協力	地域行事に年1回以上参加する生徒、教員が6割以上	・六中マルシェ、地域運動会、荒川ウォーク、住区まつり等への参加を呼びかける。 ・地域の方への情報の発信、学校公開をとおして、教育活動への理解を深める。			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）